

# 第11回碩田中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成25年9月2日（月）18：30～20：30

場所：大分文化会館 第2小ホール

○出席者37名、欠席者1名

## 1. 開会のことば

- ・江藤副会長より、開会のことば。

## 2. 会長あいさつ

- ・吉田会長より、開催に当たってのあいさつ。

## 3. 議事

### (1) 新校舎の位置に関する意見の取りまとめについて

- ・地域協議会規約第2条に「協議会としての意見を取りまとめ、大分市教育委員会に付託する」と規定されている。この「付託」について、新校舎の位置に関する意見の取りまとめの在り方をどのようにするか協議いただきたい。

<主な意見>

【委員】「新校舎の位置に関する意見が一つにまとまるか分からないが、まとめようとするのが大事ではなかろうか」との意見により、今後協議を進めていくことが、第10回の協議会でほとんどの委員から同意を得たように思う。残り5回の協議会で意見を一つにまとめようとするのは大事ではないかと思う。

【委員】意見を一つにまとめることが最終目的であったと思うが、一つにまとめようとするのは、なかなか困難な面があるかと思う。もし一つにまとまることなく、条件を付けて教育委員会に付託する必要があるのではないかと思うので、この会の中で十分言えるべき意見、条件等を整理する必要があるかと思う。

○新校舎の位置に関する意見の取りまとめについては、地域協議会で意見を一つにまとめ  
たうえで教育委員会に付託することを確認する。

- ・議事2に移る前に、以前の会議で住吉校区から提案された、碩田中学校敷地内に施設一体型小中一貫教育校を新設することに対し、意見が交わされる。

<主な意見>

【委員】この協議会は、荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校の3校を統合するということが目的であり、協議会規約第1条の目的及び構成には碩田中学校という記載はない。3つの小学校の統合ということで一つにまとめていかないと、協議会の目的そのものが失われるような気がする。

【事務局】3小学校を統合して新設校を建設する候補地として、荷揚校区は荷揚町小学校地を、中島校区は中島小学校地を、住吉校区は碩田中学校地をと、各校区からそのような提案がなされたと理解している。

- 【委員】住吉校区からの提案は、3小学校の統合に加えて更に中学校まで運営の一体化を図って、施設一体型の一貫教育に取り組むとの考え方だが、基本計画で示された条件は、3小学校を統合することを我々に提示されていると受け止めている。中学も含めた一体型の協議をしてもよいのかとの確認が取れていないので、住吉校区の案について継続して協議することは問題があるのではないかと思う。
- 【事務局】基本計画の中では、碩田中学校区の目指すべき方向性と具体的方策として「荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校の3校を統合し新設校を建設するとともに、碩田中学校との小中一貫教育の充実を図ります」とし、その具体的な内容として「小中一貫教育の充実を図ることを基本とし、現在の連携型の小中一貫教育校のみならず、併設型や施設一体型の小中一貫教育校などについても比較検討することにより、9年間を見通した教育活動を日常的に実践しやすい環境を整備し、小中一貫教育のモデルとなるような学校施設の在り方についても検討します」と記載していることから、住吉校区からの提案はその範疇と考えている。
- 【委員】小中一貫教育については確かに基本計画の中に記載はあるのだが、住吉校区の案には一体型の運営をする、校舎も一体化するというところまで触れている。小中一貫教育の在り方については、方向性が明確になっていない段階で、小中の一体化を進めるとの考え方が本当によいのか。これは基本計画の条件を逸脱するものではないかと思う。
- 【事務局】以前の講演会でも小中一貫教育の在り方について、3つの型があるとの話があり、そして碩田中学校区の連携型の研究発表会や賀来小中学校の併設型、福岡の照葉小中学校の施設一体型も視察しながら、この3つの型の中で子どもたちの教育環境をどのように整備していくかということで、住吉校区から施設一体型との提案が出されているので、基本計画から逸脱するとは考えていない。
- 【委員】学校運営は中学校と独立した形で、碩田中学校地の中に3小学校を統合して新設校を建設する考え方であれば問題ないと思うが、今回の適正配置に絡めて、中学まで含めた施設一体型の小中一貫教育を考えることは問題だと思う。例えば、碩田校区全体が防災上の危険性があることが専門家からも言われているので、校区外の上野の丘の場所に校舎を作ろうというような提言をしてもよいのか。それと同じように、新設校はあくまでも碩田校区の中で、3小学校の統合というのが前提条件としてあり、我々はそういう協議をしてきている。
- 【委員】小中一貫教育については教育委員会としてどの型がよいということを打ち出さないと、協議会で型を決めることは無理だと思う。仮に碩田中学校地に統合校の位置が決まったとしても、あくまでも中学校とは別の独立した3校統合の小中学校を造るという構想で進めていくべきではないかと思う。
- 【委員】以前の会議で碩田中学校地に小中一体型の新設校との意見が出され、それについて論議をしている。また、協議会として協議会だよりなどで確認されたことを広報している中で、また今回その話に戻って時間を使うことについては、いかがなものかと思う。
- 【委員】以前の会議で碩田中学校地にということが出た時に、その確認を皆さんが取ったと思うかどうかだが、私は取ってはないと思う。条件が変わってくると、一

体型も含めて我々は審議しなければならなかったのかということ、逆にその話に戻ることは構わないのではないかと思う。

【委員】住吉校区としては、最初はやはり住吉小学校地に建て、防災を中心に考えようということだったが、回を重ねるごとに、碩田中学校の生徒も一緒に守るのがよいのではないかということで、防災の観点と教育の観点も含めて碩田中学校地に施設一体型の小中一貫教育校との考えとなった。小中一貫の話を協議会で話すべきでないという意見もあるが、色々な案を出すことが協議会の目的だと思うので、色々な案があってもよいのではないかと思う。

【委員】施設一体型の校舎建設については、地域の保護者に対しても中学との一体化ということは全く説明をしていないし、協議会だけで協議をすることは問題だと考えている。そのことを含み置いていただいて、場所の選定を急がなければならぬので、議事を進めてはどうかと思う。

## (2) 今後の協議について

- ・これまで、主に防災について協議が行われたが、他の協議事項についてはまだ具体的な協議を行っていない。各校区共通する内容や協議によってまとめられる内容はまとめていただきたい。

<主な意見>

【委員】荷揚校区は通学環境について、平時と大震災時の2つの場合の観点を記載しているが、通学環境の整備に関しては、専門家の意見を聞いていないとのことなので、大震災時の児童生徒の生命安全確保のための施設建設を強く求めたい。十分な高層建築物が無く、小学校の登下校の途中で被災する場合も考えられるので、そういう場合の対策等も十分に考える必要があるのではないかと思う。

【委員】通学環境に関して今回の統合で最も影響を受けるのは、日々の通学の距離が非常に遠くなる児童であろうと思うので、通学上の負担軽減を最優先に考えるべきだと思う。中島小学校は碩田校区のほぼ中央部にあり、通学距離の面や通学ルートが分散されるメリットもあり安全が確保できる。また、保護者や地域の人が色々な行事で学校に行く場合にも、近ければより参加率が上がることも考えられる。

【委員】碩田中学校地に新設校を建設した場合に、40m道路を超えて海岸線のほうに行きたくないという話は、以前の会議で出されたこともあるが、新設校の設置に際して40m道路の整備や津波等に対する対応をとり、より強固な学校を建設すれば、碩田中学校に設置することに対して、そんなに気にしなくても良いのではないかと思う。

【委員】通学距離と通学時間の面で考えれば、中島小学校は碩田中学校区の真ん中であり、児童数も多いのは事実であるが、そのことを本当に最優先して良いかどうかは判断のしようがないと思う。また、今の保護者は車で移動することが多いので、中島小学校では駐車場が少ない面で不安要素があると思う。

【委員】特に通学環境については非常時のことを考えるよりも、毎日通うことなので平時のことをまず考えるべきだと思う。非常時も当然考えなければならないが、あまりウエイトを大きくして考えないほうが良いと思う。やはり低学年の負担

を軽減するためには、距離が遠くならないほうが良いと思うし、見守り活動などは設置場所が決まった後に保護者やP T A、諸団体が充実されていくべきものだと思う。

【委員】 平常時のことを中心に考えれば良いという意見であるが、荷揚校区としてはまず非常時に対応できるような通学環境であるかどうかが問題である。平常時はもちろんのことだが、いざという時にどういう形で児童の安全が確保できるのかとの観点からまず考えるべきだと思う。また、通学路の法的根拠はどうなっているのか教えていただきたい。

【事務局】 例えば通学路の道路であれば、通学時間帯での車の進入を規制するなどの対応は、警察署等と学校、地域が協議し決定される。なお、学校が保護者や地域住民と協議しながら安全な通学路を確保して、市立学校管理規則に基づき、学校から教育委員会に報告することとされている。

【委員】 通学環境において各校区で共通する点として、荷揚校区の「学校・保護者・地域がこれまで以上にスクラムを組む」の意見、中島校区の「見守り活動は、地域や団体、P T Aの人達の協力」の意見、住吉校区の「保護者の心配が懸念されるので、P T Aや地域が協力して何らかの対策が必要である」の意見などが、子どもの安全確保については共通理解としても良いのではないかと思う。

【委員】 通学環境について3校区から出された共通点をまとめたところで場所は決まらない。通学環境に関して3校区の中でどこがよりベターなのか、具体的に協議をしたほうが良いのではないか。この項目についてはここが良い、でもこれについてはここが良い、それで総合的にここの校区が一番良いというようなことにはできないかと思う。

【委員】 協議会として色々な意見を出していく中で、まとめていく努力をしていくことが今日確認された。まとめられる内容や共通する内容、具体的には「児童生徒の安全安心」、「通学路の安全確保を最優先する」、「学校、保護者がこれまで以上にスクラムを組む」、「見守り活動を今以上にもっと進めていく」、そのようなことをまとめてはどうかと思う。

【委員】 まとめるという意味がよく理解できない。まとめるというのは、どこが最良であるということの一つひとつを決めることではないかと思う。例えば通学環境については、通学距離や通学ルートの関係から新設校の校地としては、中島校区を最良とするなどと決めて、そして共通事項は、学校、保護者、地域が今まで以上にスクラムを組んで努力するなど、具体的に名前を出していくほうが、会が早く進むし、後々の取組みが早くなるのではないかと思う。

【委員】 場所の選定は急がなければならないので、校区ごとに何を一番訴えたいのかとポイントを絞って説明をしてはどうか。また、設置基準については、学校運営のスムーズ化を図るためには、同一敷地内で設置基準に達する面積を確保することが必要と思うので、この2つを優先して場所を特定すべきだと思う。なお、次回の協議の提案だが、例えば中島小学校地に新設校を立地するという前提で、防災、小中一貫等の事項でどういう問題点があるのか、それについてはどう対応していくのかという議論をして、結論が見出されれば中島小学校に新設校を設置するというような進め方はできないかと思う。

【委員】今までの10回の協議会ではなかった形の協議の進め方の提案があったが、例えば中島校区を前提で協議をし、その後は荷揚校区、住吉校区を前提として協議をすることになると、あくまでも協議会として15回ということが決められている中で、時間が足りるのかどうか不安を感じる。

【委員】もしここで点数付け、もしくは固有名詞で協議するというのであれば、協議事項の優先順位を先に決め、項目をもっと増やして協議しないと、この6項目だけで決めていくこと自体がどうかと思う。もし点数で協議するのであれば、地域、学校でそれぞれ特徴があるので、100項目の100点満点で100質問を出すとかいうことをしない限りは難しいのではないかと思う。

【委員】協議会での今までの積み重ねの中から、この6項目の協議事項が出されているわけで急にできたものではない。また、中島校区としては通学路と設置基準の2つは自信があるということで発言したので、今度は住吉校区や荷揚校区もこの項目の中で、どれを特長として力点としているのかというような協議の仕方をして、トータル的にどこが良いかを決めないと、一つにまとまらないのではないかと思う。

○今後の協議会の進め方について、会長・両副会長と事務局で協議することを確認する。

### (3) その他

- ・今後の日程と碩田中学校区小中一貫教育公開研究発表会について説明する。

○第12回地域協議会は10月1日(火)の18:30~20:30に大分文化会館第2小ホールで、第13回地域協議会は10月29日(火)の18:30~20:30に荷揚町小学校体育館で開催する。

○碩田中学校区小中一貫教育公開研究発表会が、10月18日(金)の13:30~16:30に中島小学校で開催される。

## 4. 閉会のことば

- ・瑞木副会長より、閉会のことば。